

4Revs

a co-creative ecosystem

共創のエコシステム



A One Generation Project: 2020-2050 — Year 3: 2022-2023

写真：世界最大の氷河、イルリサットより

目次

1.	4Revsのビジョン、課題認識、基本設計、ロードマップ	3
2.	エコシステムの概要	9
3.	活動内容のご紹介	14
4.	プラットフォームのご紹介	20
5.	活用方法・参加特典	25
6.	年間成果物	29
7.	主宰者の組織情報	31





4Revs — a co-creative ecosystem

Our Vision:

人類の主な「生存ボトルネック」を一世代(2020-2050)の内に解決に導く
helping humanity solve its main survival challenges in one generation (2020-2050)

私たちは、日本発のグローバル・プラットフォームを目指しています。
2022年には、4Revs Europeが始動予定。同じく、2022年中に
4Revs Africaも準備段階に入る。

人

4Revsは、
課題をチャンスに変える
次世代のイントラプレナー
を育成する

事業

4Revsは、
課題から価値を生む
事業・ベンチャー・投資機会
を発掘する

人類が直面する4つの「生存ボトルネック」

The Challenges



食糧 農業 タンパク質の供給

86億人（2030年）～112億人（2100年）の地球人口に対して、どのようにして、食品ロスを減らしつつ、十分な栄養と食糧を供給するか。

生態系を守り、健康的な農産物を提供できる持続可能な農業をどのようにして実現するか。

持続的に十分なタンパク質をいかにして生産・供給するか。



水 水の技術 水の管理

水ストレスや水不足の悪化を防ぐために、水資源をどのようにして持続可能なかたちで管理するか（MITによると、2050年の世界人口の52%は水ストレスに直面するという）。

水の浄化・管理システムやその関連の技術が世界に普及し、効果的に活用されるには、どんな取り組みが必要とされるか。



資源 サーキュラー 生態系の活用法

鉱物資源・天然資源をそれぞれ、継続的に供給ができるよう、どのようにして持続可能に生産・管理するか。

汚染物質・廃棄物を最小化し、生態系の劣化を回避できるサーキュラーな社会・経済の仕組みをどのようにして築くか。

生態系の持続可能な利用法とは。



エネルギー 気候変動 温室効果ガス

増大する地球人口に対して、健康を害せず、また甚大な気候変動に寄与しないエネルギーの供給をどのようにして確保するか。

経済と社会全体の脱炭素化の加速をいかにして成し遂げられるか。

気候変動によってもたらされる将来的な課題や災害に、どのように対応するか。

The Opportunities

いくつかの具体例

1. 食品ロスを減らす技術・仕組み
2. 持続可能な農業の取り組み
3. 持続可能な（魚の）養殖
4. 植物由来・昆虫由来の蛋白質
5. 先住民の知恵と多様な食資源の有効活用
6. より健康的な食生活と暮らし

2050年に向け、「食」を取り巻く多種多様な変化を先取りする。

いくつかの具体例

1. 水源の持続可能な管理
2. 節水技術の開発と普及
3. 改良された水管理システム
4. 安価で持続可能なかたちで運用できる淡水化技術・システム
5. 浄水の技術と仕組みの開発・普及

「水」は人類が抱えるパラドックスの一つである。この資源の持続可能かつ平等な利用を実現する。

いくつかの具体例

1. 持続可能な林業
2. 都市鉱山・アーバンマイニング
3. プラスチックの利用と技術に関わる取り組みと暮らしの変化
4. 資源アライアンス・資源コンソーシアムの構築
5. 生態系の保全・修復

「資源循環」＝サーキュラリティの実現と「生態系」の賢明な利用法を広める。

いくつかの具体例

1. 再生可能なエネルギー供給
2. 二酸化炭素を資源として活用する
3. 省エネに貢献する暮らし、仕組み、技術の開発と普及
4. 都市と農業における気候変動への革新的な適応策の実施

「エネルギー」は生活に必須だが、「気候変動」は同時に人類最大の生存脅威となっている。このジレンマを解消する。

4Revsプラットフォームの構造と価値提案 <全体像>

4Revs(=4つの革命)は、人類が直面する「4つの生存ボトルネック」を解決に導くことを存在意義とする、これまでになかった**共創のエコシステム (イノベーション・エコシステム)**である。一世代(2020~2050)にわたり活動が続け、世界各地における若手の社会起業家・社会イノベーター・サステナビリティの実践者と企業等を結び付け、4Revsの分野で、次世代型のイノベーションを協働・共創により生み出す。

CAPACITY BUILDING

Learning, training, information gathering, and exchange

BUSINESS INNOVATION

Innovation seeds, project development, business development, and joint business initiatives

世界6大陸の若手社会
イノベーター、社会
起業家、ソーシャルベ
ンチャー
約35名のチーム



企業・公的機関の若手
~中堅社員(サステナ
ビリティ、R&D、イノ
ベーション関連部署)
約250名のメンバー

キャパシティ・ビルディング

学習、情報収集、交流、人材育成

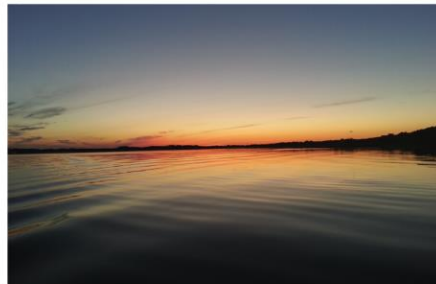
事業イノベーション

イノベーションのシーズ発掘、プロ
ジェクト開発へのインプット、事業開
発や事業提携

FOOD/AGRICULTURE/PROTEIN



WATER



RESOURCES/CIRCULAR/ECOSYSTEMS



ENERGY/CLIMATE CHANGE/GHG

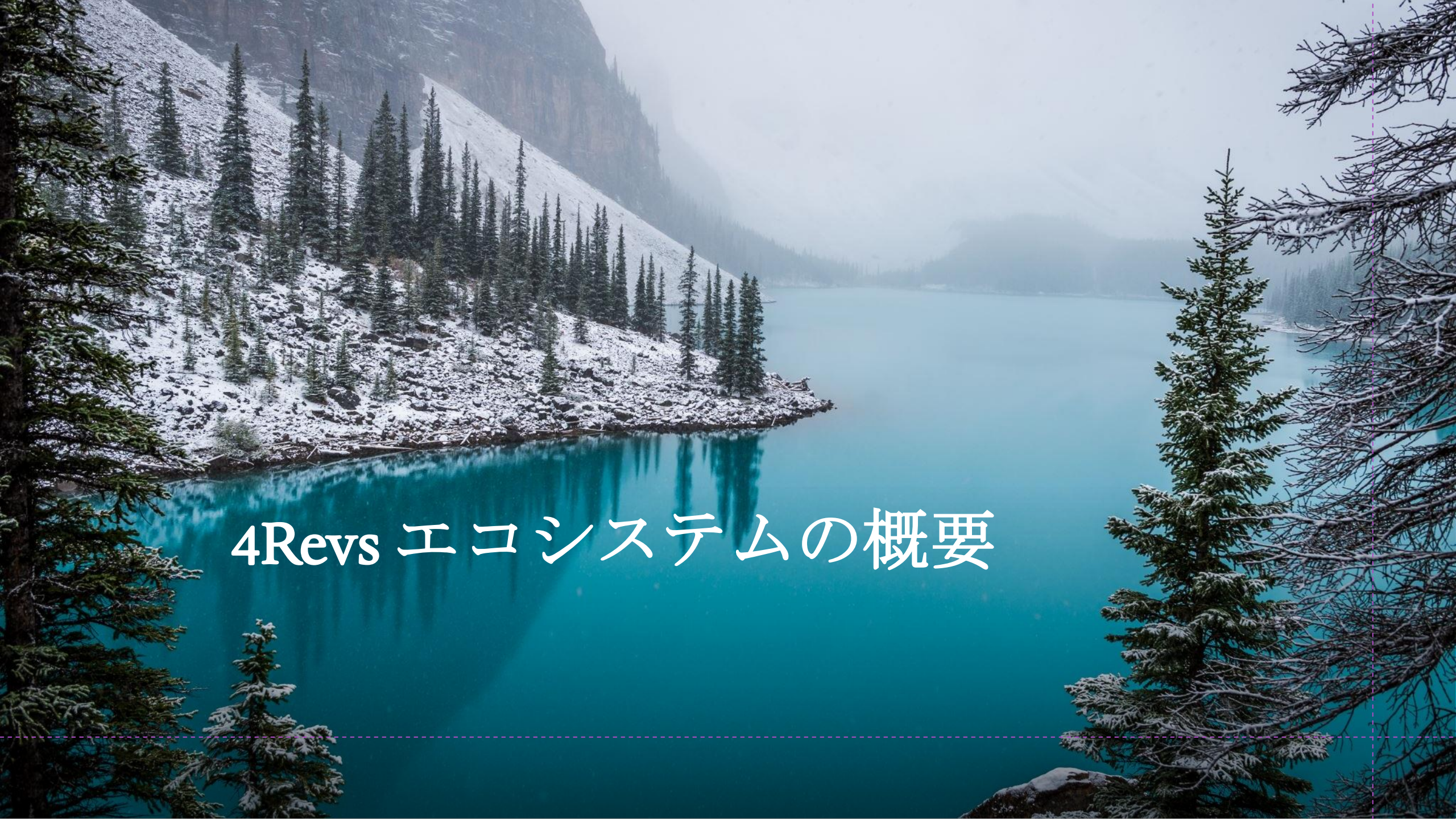


4Revsビジョン&ターゲットマップ (2050年まで)



4Revsビジョン&ターゲットマップ（最初の3年（2023.3まで））



A scenic view of a turquoise lake in a snowy mountain landscape. The lake is surrounded by snow-covered evergreen trees and a rocky shoreline. The water is a vibrant blue-green color, reflecting the surrounding environment. The background shows steep, snow-covered mountains under a hazy sky. The foreground is framed by the branches of evergreen trees, some of which are covered in snow.

4Revs エコシステムの概要

グローバルチーム： エコシステムの構成員



世界6大陸（約80か国）にまたがる若手の社会イノベーター、サステナビリティの実践者、次世代リーダーのグローバル・ネットワーク（日本で設立されたNPO法人）。NELISは、4Revs全体のグローバル事務局を務め、各地域におけるプログラム・マネージャーによる実行・リサーチチームを編成する。
www.nelisglobal.org



中南米6か国に事務所を構えるソーシャル・ベンチャー。100か国から約100万人の「クリエイティブ・マインド」が登録するオンライン・プラットフォームを活用し、イノベノベーション・チャレンジやエコシステム・ビルディングに多面的に取り組んでいる。4Revsには、グローバル・イノベーション・チャレンジの実施で参加。



Salesforce.com Japanは、4Revsのテクノロジー・パートナーとして、IT面のサポートおよび4Revs事例データベースの構築で協力・参加。
www.salesforce.com



mct社（日本）はデザイン思考、事業開発支援、チームビルディングなどを活動テーマとする日本のコンサルティング・ファーム。JCSPの運営支援（レッドストリーム）、4Revsの個別ツールなどの事務局として、実行支援パートナーを務める。
www.mctinc.jp



PR会社として、4Revsの公開用ホームページ運営および広報を担当。

www.argo-ms.com



フューチャー・アースは、持続可能な地球社会の実現をめざす国際協働研究プラットフォームです。

www.nies.go.jp/futureearth

グローバルチーム： リサーチおよび実行チーム

7
Program Managers

米国 (北米)
Katie Conlon



コロンビア (南米)
Lucas Sanchez Martinez



ベルギー (欧州/EU)
Noemi Salantiu



英国 (欧州/英国)
Puja Thiel



インド (アジア)
Shravan Shankar



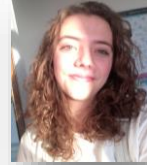
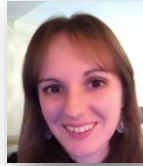
ナイジェリア (アフリカ)
Felix Iziomoh



JCSP連携など
Jovin Hurry



12
Researchers



5
NLU Core Team



9
Japan Secretariat



参加企業（2021年度）

<2021年度は9社>

ピラー・スポンサー（メインスポンサー）

アンバサダー参加12名様まで

事務局参加6名様まで

たね也



TOSHIBA



Panasonic

HITACHI
Inspire the Next

Marubeni

MIZUHO

参加企業（2021年度）

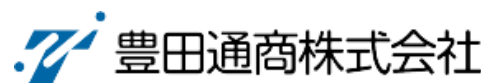
<2021年度は20社・機関>

コミュニティ・パートナー
アンバサダー参加6名様まで

事務局参加4名様まで



THE NEW VALUE FRONTIER



A scenic view of a turquoise lake, likely Moraine Lake in Canada, surrounded by snow-covered evergreen trees and a rocky mountain slope. The water is a vibrant blue-green color, reflecting the surrounding landscape. The sky is overcast and grey. The text "活動内容のご紹介" is overlaid in the center of the image.

活動内容のご紹介

GREEN STREAM

企業の全参加者が対象
一部、一般社員向け、幹部層向け
のコンテンツ（ウェビナー）も

研究会 + 情報アクセス + 社内教育

情報コンテンツ（SFプラットフォーム上）

- ・ 4Revsケース
- ・ 経営インテリジェンス
- ・ 4Revs投資関連情報
 1. ベンチャー紹介
 2. 新規投資ファンド

研究会

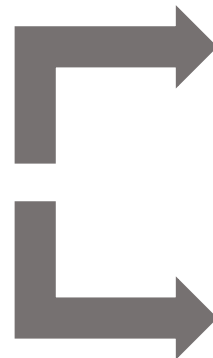
- ・ 年4回のテーマ別研究会
（初回（5月）はキックオフ会議を兼ねる）

グローバルサミット

- ・ 10月頃開催（対面もしくはオンライン）

一般社員向け教育

- ・ 年2回のサス・トレンド・ウェビナー
- ・ **ピラースポンサーのみ**
幹部層向けプログラムあり



BLUE STREAM

特にキャパシティ・ビルディングに焦点を当て
たい企業のアンバサダーが選択するコース

サステナビリティ・イントラプレナー育成コース

6月～2月の年間カリキュラム

- ・ 年間コースアウトラインの提示ビジネススクール流）
- ・ 学習目標の明文化（個人）
- ・ ソーシャル（サステナビリティ）・イントラプレナーシップ
のコンテンツ + Next Leaders University (NLU)で登場する
若手社会起業家によるインスピレーション
- ・ 個別にイントラプレナー・コンパスを完成し、上司に提出
- ・ 書籍（各自購入） + 関連説明動画（2本、無料）の用意

RED STREAM

特に事業開発、事業共創、他社とのオープンイノベー
ションに注力したい企業のアンバサダーが選択するコース

JCSP – Japan Circular Society Platform

6月～3月の共創プログラム

- ・ 企業のアンバサダーをリーダーとする部会活動
- ・ 初回から、ソーシャル・イノベーションデザイン・
キャンパスを活用(mct社が年間ファシリテーション)
- ・ 参加企業間の事業構想・事業企画をフェーズを経て検証する
- ・ 2回の事業開発リソースプリントによる「社会課題発の
事業機会創出」演習
- ・ 年間報告会（2023.3）にて最終発表

年間スケジュール 2022年4月～2023年3月

Green Stream		
開催月	所要時間	プログラム
4月	75分	オリエンテーション
4月	75分	オリエンテーション
5月下旬	240分	リサーチ・ギャザリング#1 (キックオフ会議兼ねる)
7月上旬	105分 (現在より+15分)	サステナビリティ・トレンド ウェビナー # (一般社員も参加可能)
7月下旬	105分 (現在より+15分)	エグゼクティブ戦略 セッション (部長層向け) ※ピラースポンサーのみ
9月中旬	240分	リサーチ・ギャザリング#2
10月下旬	2日間にわたる	グローバル・サミット (状況が許せば対面式)
11月下旬	240分	リサーチ・ギャザリング#3
1月下旬	105分 (現在より+15分)	エグゼクティブ戦略 セッション (担当役員向け) ※ピラースポンサーのみ
1月下旬	105分 (現在より+15分)	サステナビリティ・トレンド ウェビナー # (一般社員も参加可能)
1月下旬	90分	次年度企画説明会
2月中旬	240分	リサーチ・ギャザリング#4
3月中旬	105分	最終報告会

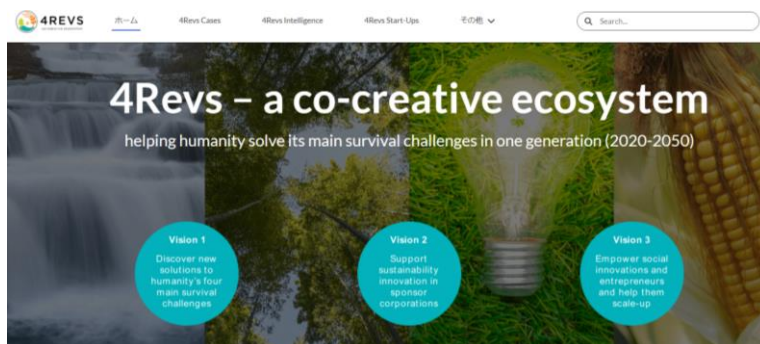


Blue Stream		
6月上旬	105分	導入：カリキュラム説明 個人目標シートについて NLUマイクロトレーニングの活用法の説明
7月上旬	105分	イントラプレナー・コンパス の全体像を学ぶ
7月下旬	90分	NLUウェビナー (ライブ) 若手社会イノベーター登壇
9月下旬	105分	それまで閲覧したNLUマイクロトレーニングを 振り返るとともに、イントラプレナー・コンパ スの上部 (4側面) について詳しく学ぶ
11月中旬	90分	NLUウェビナー (ライブ) 若手社会イノベーター登壇
12月中旬	105分	それまで閲覧したNLUマイクロトレーニングを 振り返るとともに、イントラプレナー・コンパ スの下部 (4側面) について詳しく学ぶ
2月上旬	120分	各自がグループにてイントラプレナー・コ ンパスを共有 + 個人目標シートについて

Red Stream		
6月中旬	未定	導入：年間プログラムの説明 フレーム (キャンパスなど) の説明 チーム分けについて
6月～7月		部会活動
7月末	180～240分	mctとの事業開発リーンスプリント#1 Social Innovation Design Canvasを活用
8月～9月		部会活動
9月上旬	未定	mctとの合同セッション (各部会合同)
9月～11月		部会活動
11月上旬	未定	mctとの合同セッション (各部会合同)
11月下旬	240	リサーチ・ギャザリング#3にて中間発表
9月～11月		部会活動
1月末	180～240分	mctとの事業開発リーンスプリント#2 Social Innovation Design Canvasを活用
1月～2月		部会活動
2月下旬	未定	mctとの合同セッション (各部会合同)
3月中旬	105分	最終報告セッションにて最終発表

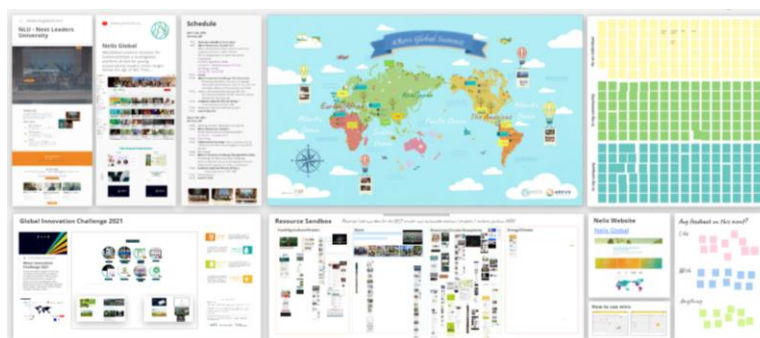
情報コンテンツ（月次更新）

- ・4Revs関連ケーススタディ（世界6大陸より収集）
- ・4Revs関連インテリジェンス（国連報告、科学記事、重要な国際会議など、関連の国際動向の紹介）
- ・4Revs投資関連情報（世界のベンチャー紹介＋世界の新規投資ファンド紹介）



グローバル・サミット

- ・オンラインもしくは対面にて、世界の若手社会イノベーターと交流するサミット／ハッカソン実施（逐次もしくは同時通訳あり）



研究会：リサーチ・ギャザリング

- ・年4回の4Revs研究会@4時間
- ・世界からのインプットを獲得するとともに（逐次通訳あり）、他の企業参加メンバーとも交流を深める

<モデルプログラム> 約4時間を想定

- パート1 4Revsリサーチチームからの情報インプット
- パート2 関連起業家等からの基調レクチャー
- パート3 関連投資ファンド情報紹介
- パート4 ブレイクアウト：他社とのディスカッションルーム（共通テーマ）
- パート5 その他4Revs関連情報や事業紹介

一般社員および幹部層向け

<幹部層向けは、ピラースポンサー限定>

- ・年2回の「サステナビリティ・トレンド・ウェビナー」
- ・幹部層向けウェビナー（ピラースポンサーのみ）
 - (1) 部長職向け1回
 - (2) 担当役員向け1回

Sustainability Trend Webinar #2

January 18, 2022
14:30-16:00@ZOOM

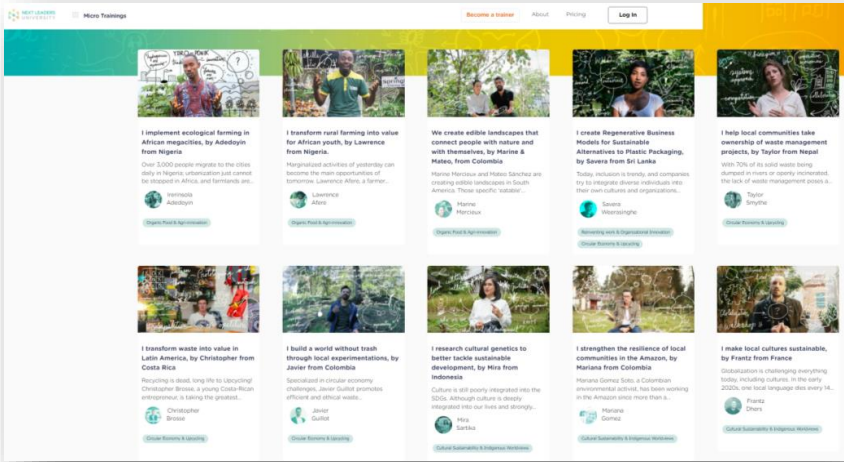


サステナビリティ・イントラプレナー育成講座

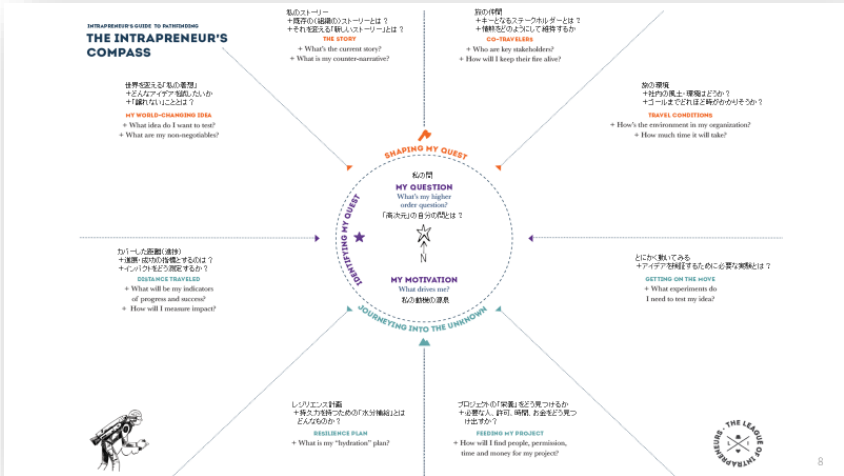
特に「**キャパシティ・ビルディング**」に注力したいアンバサダーが選ぶコース。ここでは、8か月かけて、社会課題を価値に変えられる「**イントラプレナー**」としての実践的スキルを磨く。ビジネススクール流に、明確なコースアウトラインに従って、年間カリキュラムとして進める。

Blue Stream		
6月上旬	105分	導入：カリキュラム説明 個人目標シートについて NLUマイクロトレーニングの活用法の説明
7月上旬	105分	イントラプレナー・コンパス の全体像を学ぶ
7月下旬	90分	NLUウェビナー（ライブ） 若手社会イノベーター登壇
9月下旬	105分	それまで閲覧したNLUマイクロトレーニングを 振り返るとともに、イントラプレナー・コンパス の上部（4側面）について詳しく学ぶ
11月中旬	90分	NLUウェビナー（ライブ） 若手社会イノベーター登壇
12月中旬	105分	それまで閲覧したNLUマイクロトレーニングを 振り返るとともに、イントラプレナー・コンパス の下部（4側面）について詳しく学ぶ
2月上旬	120分	各自がグループにてイントラプレナー・コンパス を共有＋個人目標シートについて

Next Leaders University（動画コンテンツ） 世界の若手社会イノベーターの実践に学ぶ



イントラプレナー・コンパス活用し、参加者 各自で今後のアクションを明確化する



JCSP 事業共創プログラム

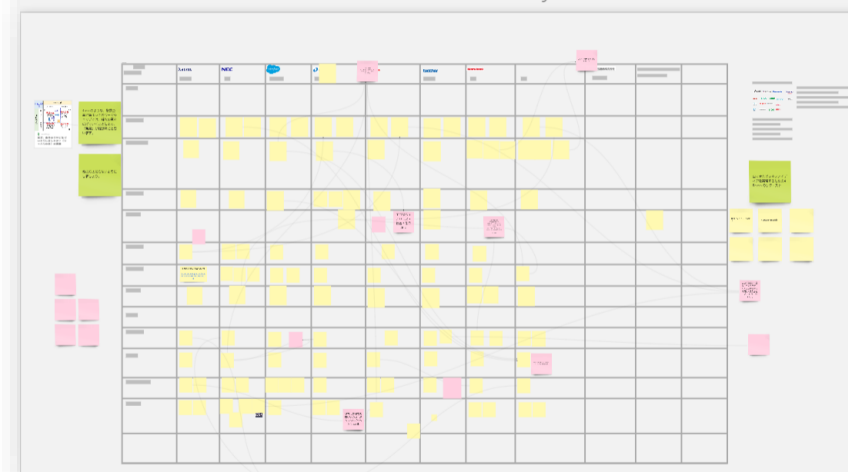
—Japan Circular Society Platform—

特に「**事業共創・事業創出**」に注力したいアンバサダーが選ぶコース。ここでは、9か月かけて、他の企業メンバーとともに、4Revsの情報やリサーチチームからのインプットも得つつ、**共同で事業構想・事業企画を練る**（部会活動／mctのファシリテーションのもと、企業メンバーが自らリードする）。事業開発リーンスプリントを年2回実施。

Red Stream		
6月中旬	未定	導入：年間プログラムの説明 フレーム（キャンバスなど）の説明 チーム分けについて
6月～7月 部会活動		
7月末	180～240分	mctとの事業開発リーンスプリント #1 Social Innovation Design Canvasを活用
8月～9月 部会活動		
9月上旬	未定	mctとの合同セッション（各部会合同）
9月～11月 部会活動		
11月上旬	未定	mctとの合同セッション（各部会合同）
11月下旬	240	リサーチ・ギャザリング #3にて中間発表
9月～11月 部会活動		
1月末	180～240分	mctとの事業開発リーンスプリント #2 Social Innovation Design Canvasを活用
1月～2月 部会活動		
2月下旬	未定	mctとの合同セッション（各部会合同）
3月中旬	105分	最終報告セッションにて最終発表

企業メンバー主導の部会活動にて、4Revsテーマに関する共創セッションを実施

4revs参加企業の取り組み理解 for 4revs Circular Economy WG



独自のキャンバスSocial Innovation Design Canvasをフレームに議論を重ね、具体化

Social Innovation Design Canvas				
メガトレンド (メガトレンドに基づく未来洞察)	MTP (大胆な変革目標＝本事業家のパーパス)			スケール化のレバー
	事業コンセプト (事業を最もわかりやすく伝えるフレーズと、事業の独自の切り口・ポイントの説明)			鍵となるパートナー
	顧客の問題 (誰が、どんな問題を抱えているのか?)			鍵となる活動・プロセス
社会ニーズ (ステークホルダーの期待・要請)	解決策 (製品・サービスと独自の顧客提供価値)		インパクト (経済インパクトと環境・社会インパクトの評価指標)	鍵となる技術・リソース
	顧客①			鍵となるチャネル
				鍵となるメッセージ
	顧客②			鍵となる顧客体験 (エンゲージメント)

A scenic landscape photograph of a turquoise lake, likely Moraine Lake in Canada, surrounded by snow-covered evergreen trees and a rocky mountain slope. The text "プラットフォームのご紹介" is overlaid in the center.

プラットフォームのご紹介

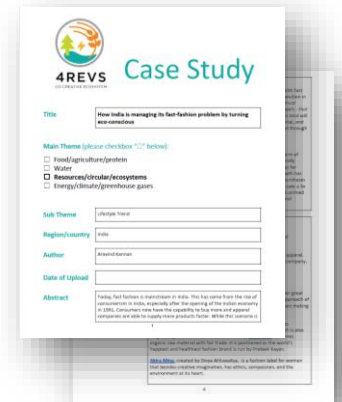
ITプラットフォーム<コミュニティ・ページ>で情報を一元化

4Revsのコンテンツ、スケジュール、関連資料などは、Salesforce.comとの協力により構築された独自のITプラットフォームからアクセスできる。Next Leaders' University (NLU)は、同じプラットフォームからのリンクを通じてアクセスできるが、独自の事業企画としても運用される。ITプラットフォームは、4RevsのアクセスIDを持つ企業参加者およびリサーチャー、日本側の事務局メンバーのみがアクセス可能（非公開）。

ITプラットフォームの主な機能（2022年度予定）



- 4Revsケーススタディ（月8ケース+1横断テーマケース）
- 経営インテリジェンス情報（月次更新—約10件前後）
- 4Revs投資関連情報
 - ・世界の関連ベンチャー紹介
 - ・新規投資ファンド紹介
- Next Leaders University（リンクを通じてNLUのプラットフォームへ移動）
- More:
 - ・年間スケジュール
 - ・資料アーカイブ
 - ・リサーチチームのプロフィール
 - ・事務局連絡先
- テーマ別コミュニティ（参加者、リサーチャー双方がやり取りできるオンラインコミュニティ）



4Revsケーススタディ ITプラットフォーム上の掲載イメージ



4REVS
CO-CREATIVE ECOSYSTEM

Home4Revs Cases4Revs IntelligenceNLUMore ▾

Search...

4Revs Cases

4. Energy, climate, greenhouse gasses ▾

NewChange OwnerPrintable View

Search this list...

47 items • Sorted by Title of Case • Filtered by All 4revs cases - Main Theme • Updated a few seconds ago

☐	Title of Case ↑ ▾	タイトル ▾	Main Theme ▾	Sub Theme ▾	Region/country
1	☐ Alinti: Clean energy from plants and microorganisms	Alinti - 植物と微生物から家庭内の電力の一部を生産す...	Energy, climate, greenhouse g...	Clean Energy, Energy Access, ...	LATAM: Perú
2	☐ ALIS: Algae Innovation Solutions for greenhouse gasses	ALIS: 藻を活用した空気浄化および温室効果ガス排出...	Energy, climate, greenhouse g...	Air purification, air natural filt...	LATAM / Mexico
3	☐ Asteven Energy: Your partner for renewable energy	Asteven Energy: ナイジェリアにおけるオフグリッド再...	Energy, climate, greenhouse g...	Energy Solutions for an inclusi...	Africa/ Nigeria
4	☐ Carbon-Negative Concrete: Cheaper and cleaner building mate...	カーボン・ネガティブ・コンクリート： サステナブ...	Energy, climate, greenhouse g...	Climate sensitive construction	North America
5	☐ Cargobikes :Zero-emission urban logistics	Cargobikes: 自転車を利用した配送サービス	Energy, climate, greenhouse g...	Urban logistics - Livable, safer ...	Europe
6	☐ Climeworks: Removing carbon dioxide from the air to fight clim...	Climeworks: 空気中からCO2を取り除く技術（Direct ...	Energy, climate, greenhouse g...	Direct Air Capture technology	Europe
7	☐ Cooling Data Centers: Curbing Carbon Emissions with New Co...	フォースド・フィックス： 画期的な技術でデータ...	Energy, climate, greenhouse g...	Server Data Centers, Data Ce...	North America
8	☐ Driving the Indian Electric Vehicle Revolution through ride-shar...	ライドシェアを通じて、インドのEV革命を推進する	Energy, climate, greenhouse g...	Climate friendly transportation	Asia / India
9	☐ Ecobnb: Sharing economy and tourism turned green	Ecobnb: グリーン化されたシェアエコノミーと観光	Energy, climate, greenhouse g...	Sustainable tourism	Italy/ Global
10	☐ Ecopost Waste Solutions: Sustainable Living	Ecopost Waste Solutions: 廃プラと農業廃棄物を建材な...	Energy, climate, greenhouse g...	Waste conversion and wealth ...	Africa / Kenya
11	☐ Energy 4 Impact: Accelerating access to energy	Energy 4 Impact: 東アフリカにおける再生可能エネル...	Energy, climate, greenhouse g...	Helping businesses deliver en...	Africa/ Kenya
12	☐ Environmental protection: Costa Rica's successful experience in...	コスタ・リカにおける「生態系サービスへの支払」（...	Energy, climate, greenhouse g...	CO2, Decarbonization, Ecosys...	LATAM / Costa Rica

ケース一覧（エネルギー・気候変動関連）

4REVS
CO-CREATIVE ECOSYSTEM

Case Study

TitleCargobikes - zero-emission urban logistics

Main Theme (please check box below):
☐ Food/agriculture/protein
☐ Water
☐ Resources/circular/ecosystems
☒ Energy/climate/greenhouse gasses

Sub ThemeUrban logistics - Livable, safer and healthier cities

Region/countryEurope

AuthorRachna Lévesque

Date of Upload1st June 2020

AbstractWe know that cycling is a fantastic way to get around while keeping your body and mind fit and healthy. But what if cycles could be used to reduce congestion and air pollution caused by vans and trucks in city centres?

ケースPDF

4Revs IntelligenceInformation

8. All Intelligence

50+ items • Sorted by Created Date • Filtered by All 4revs intelligenceinformation • Updated a few seconds ago

NewChange OwnerPrintable View

Search this list...

☐	Title of Intelligence	タイトル	Category	Year & Mo...	Created D...	
1	☐ FAO Food Coalition – A COVID-19 Response	食糧システムの強靱性を高めるため、FAOはFood Coalition(連合)を始動	Food, agriculture, protein	December 2020	2020/12/03 15:...	
2	☐ UN Habitat launches "World Cities Report 2020" o...	国連ハビタットがWorld Cities Report 2020を公表、「サステナブルな都...	Others	December 2020	2020/12/02 13:...	
3	☐ SolAbility launches its 2020 "Global Sustainable C...	SolAbilityが2020年度版「グローバル・サステナブル競争力ランキング」...	Others	December 2020	2020/12/02 13:...	
4	☐ <Feature>Materials efficiency - a strategy for redu...	特集記事：資源効率→温室効果ガスを削減する重要な方策	Energy, climate, greenhouse gass...	December 2020	2020/12/01 18:...	
5	☐ FAO's The State of Food and Agriculture 2020	FAOが、The State of Food and Agriculture 2020を公表	Water	December 2020	2020/12/01 17:...	
6	☐ Climate Reality Check: 20 critical insights on clima...	Climate Reality Check: 気候変動に関する20項目の科学的知見などを公表	Energy, climate, greenhouse gass...	December 2020	2020/12/01 17:...	
7	☐ The IEA forecasts strong growth in renewable ene...	IEA Renewables 2020: 2025年に向けた再生可能エネルギー・アウトロックス	Energy, climate, greenhouse gass...	December 2020	2020/12/01 17:...	
8	☐ New energy and climate outlook from Bloomberg...	ブルームバーグNEFが2050年のエネルギー・気候変動アウトロックスを公表	Energy, climate, greenhouse gass...	December 2020	2020/12/01 17:...	
9	☐ Anthropocene Magazine – Solutions to global chall...	人新世（アンスロポシーン）のオンライン雑誌	Others	December 2020	2020/12/01 17:...	
10	☐ <Feature> Strategies for a stable climate	特集記事：気候の安定化に向けた戦略—日本と世界	Energy, climate, greenhouse gass...	November 2020	2020/11/04 12:...	
11	☐ Oceans hit hard by climate change	海洋の温暖化とサンゴ礁の劣化に関する最新の研究	Energy, climate, greenhouse gass...	November 2020	2020/11/02 10:...	
12	☐ Report on the link between natural capital and the ...	自然資本とSDGsの関連性に関する報告書	Resources, circular, ecosystems	November 2020	2020/11/02 10:...	
13	☐ Swiss Re launches Biodiversity and Ecosystems ind...	再保険会社Swiss Reは、「生物多様性&生態系サービス（BES）のインデ...	Resources, circular, ecosystems	November 2020	2020/11/02 10:...	
14	☐ Amazon near "tipping point" – could turn into gras...	アマゾン熱帯雨林からサバンナに変わる「ティッピング・ポイント」に近...	Resources, circular, ecosystems	November 2020	2020/11/02 10:...	
15	☐ The human cost of disasters (2000-2019)	自然災害の人的損害（2000年～2019年）に関する国連報告書	Energy, climate, greenhouse gass...	November 2020	2020/11/02 10:...	

4Revs IntelligenceInformation
New energy and climate outlook from BloombergNEF

Intelligence information

Title of Intelligence
New energy and climate outlook from BloombergNEF

タイトル
ブルームバーグNEFが2050年のエネルギー・気候変動アウトロックスを公表

Category
Energy, climate, greenhouse gasses

Type
News

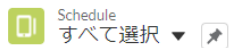
Main points
1. In October 2020, Bloomberg New Energy Finance (BloombergNEF) launched its annual global energy and climate outlook until 2050.
2. As a new feature for this year, the analysis covers transport, industry and buildings in addition to the power sector.
3. In the main scenario, global emissions from energy peaked in 2019 and fell by 8% in 2020 but global warming would be on track to reach 3.3 degrees C by 2100. Keeping temperature rise to well below 2 degrees through a shift to renewable electricity and green hydrogen would require between \$78 trillion and \$130 trillion of new investment between now and 2050.

Text
Executive key messages:
1. In our core Economic Transition Scenario, global carbon emissions from energy use drop 8% in 2020 and now appear to have peaked in 2019. They rise again with economic recovery toward 2027 but then decline 0.7% year-on-year to 2050, putting the world on track for 3.3 degrees of warming in 2100. To keep global warming well below two degrees, emissions need to fall 10 times faster, at 6% year-on-year to 2050. For 1.5 degrees, the required rate is 10%. In total, Covid-19 subtracts some 2.5 years' worth of aggregate emissions over the next 30 years.
2. Wind and PV grow to meet 56% of world electricity demand in 2050, with batteries, flexible demand and peakers in support. Leading countries go as high as 70-80% before hitting economic limits. Wind retakes the lead from solar.
3. Renewables and batteries capture 80% of the total \$15.1 trillion invested in new power capacity. Around \$2 trillion or 13% is invested by households and businesses. Asia Pacific attracts 45% of all new capital. To enable the power system of the future, \$14 trillion in grid investment is needed between now and 2050.
4. Oil demand peaks in 2035 and then falls 0.7% year-on-year to return to 2018 levels in 2050. Electric vehicles (EVs) reach upfront price parity with Internal Combustion Engine (ICE) vehicles before 2025, spurring faster adoption thereafter. The growth of EVs offsets demand growth in aviation, shipping and petrochemicals, and shapes the future of oil.
5. Gas is the only fossil fuel to grow continuously through the outlook, gaining 0.5% year-on-year to 2050. Cumulative growth of 33% in buildings and 23% in industry is balanced by declining gas use in power where consumption peaked in 2019 – although gas-fired power capacity continues to grow worldwide. Cheap gas ultimately slows the energy transition in the United States.
6. Coal demand peaked in 2018 and collapses to 18% of primary energy by mid-century, from 26% today. It is in freefall across Europe and the U.S. Coal-fired power peaks in China in 2027 and in India in 2030. But, despite improvements in energy efficiency and recycling, primary coal demand continues to grow in industry.
7. In the NEO Climate Scenario, our clean electricity and hydrogen pathway requires 100,000TWh of power generation by 2050. This power system is 6-8 times bigger than today's, has double the peak demand, and generates five times the electricity. Two-thirds of this electricity goes to direct electricity provision in transport, industry and buildings. The rest is used to manufacture green hydrogen.
8. Green hydrogen provides just under a quarter of total final energy in 2050 under our Climate Scenario. This needs 800Mt of fuel and 36,000TWh of electricity – that's 38% more power than is produced in the world today. This could be met with a further 14TW of renewables or 4TW of new nuclear. The renewable route might be cheaper but land is an issue.
9. Reducing emissions well below two degrees under our clean electricity and green hydrogen pathway requires between \$78 trillion and \$130

経営インテリジェンス情報一覧（全分類）

個別情報の詳細（抜粋）


[Home](#)
[4Revs Cases](#)
[4Revs Intelligence](#)
[NLU](#)
[More ▾](#)


[New](#) [Change Owner](#) [Printable View](#)



29 items • Sorted by StartDateTime • Filtered by All schedule • Updated a few seconds ago

☐	Title of schedule ▾	Complete ▾	StartDate... ↑ ▾	CloseDat... ▾	Content ▾
1	☐ ★Share Files★	☐			
2	☐ Project Output (全体成果物共有)	☐	2020/04/01 12:00	2020/04/01 ...	4Revs Vision & Target Map (日英) 4Revs & NLU Image video (...)
3	☐ 4Revs Orientation (webinar)	☒	2020/04/14 11:00	2020/04/14 ...	<日本語にて実施> 4Revs Project Lead, Peter David Pederse...
4	☐ 4Revs Orientation (webinar)	☒	2020/04/27 13:00	2020/04/27 ...	<日本語にて実施> 4Revs Project Lead, Peter David Pederse...
5	☐ 4Revs Orientation (webinar)	☒	2020/05/14 14:00	2020/05/14 ...	<日本語にて実施> 4Revs Project Lead, Peter David Pederse...
6	☐ Kick-off Meeting (online)	☒	2020/05/21 13:30	2020/05/21 ...	キックオフ会議はオンライン化に変更となりました(ZOOM...
7	☐ June-July Thematic Information (6月~7月の情報源)	☒	2020/06/01 12:00	2020/06/01 ...	4Revs 6月~7月のメインテーマは、「食糧・農業・タンパク...
8	☐ Green Swans (special webinar with CSI/Shizenkan University)	☒	2020/06/05 19:30	2020/06/05 ...	Vimeoビデオリンクあり。ZOOMチャットプレストの「速報...
9	☐ Webinar (on NLU): 4Revs Innovation in a Post-Corona World	☒	2020/06/09 10:30	2020/06/09 ...	※NELISユーチューブチャンネルにて視聴可能 (リンクあり...
10	☐ Research Gathering #1 ※オンラインにて開催	☒	2020/07/01 13:30	2020/07/01 ...	メインテーマ: 食糧・農業・タンパク質<日本語にて実施...
11	☐ Research Gathering #1 Output (成果物)	☒	2020/07/02 12:00	2020/07/02 ...	7月1日開催のRG#1の成果物は、こちらでDLできます (7月...
12	☐ Webinar (on NLU): Sustainable Food Systems - why innovation is ...	☒	2020/07/20 16:30	2020/07/20 ...	※NELISユーチューブチャンネルにて視聴可能 (リンクあり...
13	☐ RG#1 キャッチアップおよび成果物共有	☒	2020/07/27 16:30	2020/07/27 ...	オンラインにて (4Revsアンバサダー、企業事務局ともに参...
14	☐ August-September Thematic Information (8月~9月の情報源)	☒	2020/08/01 12:00	2020/08/01 ...	4Revs 8月~9月のメインテーマは、「資源・サーキュラー・...
15	☐ Research Gathering #2 ※オンラインにて開催	☒	2020/09/07 13:30	2020/09/07 ...	メインテーマ: 資源・サーキュラー・生態系ZOOMリン...
16	☐ Research Gathering #2 Output (成果物)	☒	2020/09/08 12:00	2020/09/08 ...	
17	☐ Webinar (on NLU) Your life in 2050: Is circular the new normal?	☒	2020/09/16 16:30	2020/09/16 ...	「サーキュラーな暮らし」は2050年の新常識となるか? ZO...
18	☐ RG#2 キャッチアップおよび成果物共有	☒	2020/09/28 16:30	2020/08/28 ...	オンラインにて (4Revsアンバサダー、企業事務局ともに参...


Files (6+)
[Add Files](#)

テーマコミュ...
 2020/07/16 •...

イノベーション...
 2020/07/16 •...

RG#1 Main ...
 2020/07/01 •...

RG#1 Main ...
 2020/07/01 •...

4Revsビジョ...
 2020/06/28 •...

Research Gat...
 2020/06/25 •...

[View All](#)

各研究会などの資料
アーカイブも兼ねている

年間スケジュール一覧 (一部)



活用方法・参加特典

活用方法： 企業アンバサダーの役割

4Revsの参加者は「事務局（主に情報アクセス・オンライン参加＝グリーンストリーム）」と「アンバサダー」（グリーン＋ブルーもしくはレッドストリームを選択）の2種類。

「アンバサダー」は、4Revsの知見を獲得し、イントラプレナーとして、社内に伝播・伝達する役割が期待される。



社員6～12名（若手中心／人数は参加コースによって異なる）を
4Revsアンバサダーとして登録、活動に継続参加



世界の若手社会イノベーターと企業の協働による
Co-Creative Ecosystem（プラットフォーム）

社内において、イントラプレナーとして
Sustainable Innovation Leaderとして活動する



実施テンプレートの提供

4Revsアンバサダーが社内で展開するための明確なひな形を複数提供

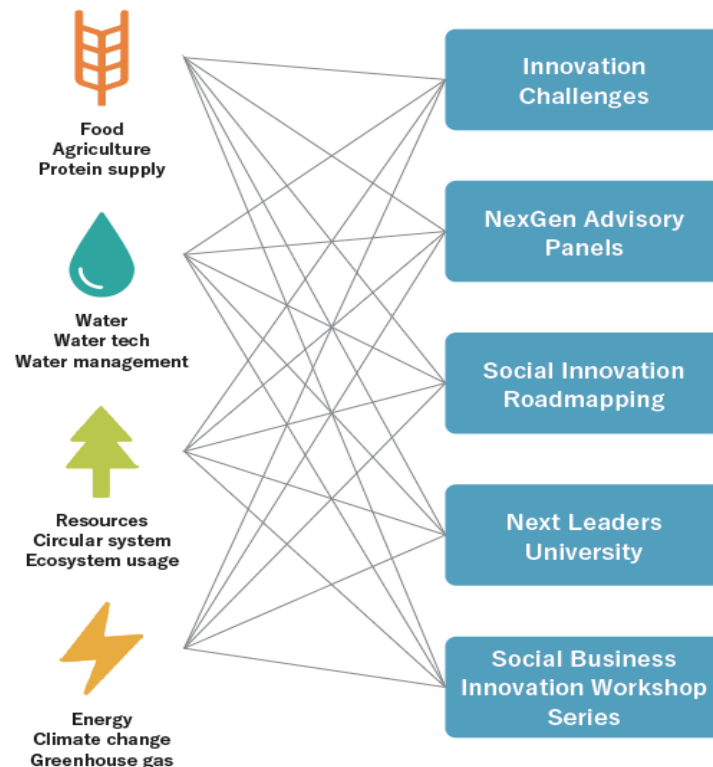
- ① ケースを活用した社内セミナーの実施スケジュール案
- ② 社内イノベーション・ハッカソンの開催プログラム案
- ③ 4Revsケースなどをどのように社内イントラ等に掲載できるかのガイダンス
- ④ 4Revs、NLUなどの社内紹介に活用できるティザー（短い動画コンテンツ）

活用方法： 個別ツール（有償）で実装を支援

4Revsのエコシステムに参加する企業は、自社特有の課題やニーズに合わせ、4Revsの個別ツール（co-creative tools）を活用することができる（別途有料／別途詳細説明あり）。

社会課題やテーマを展開、具体化するための4つのツール

4REVS のエコシステムに参加する企業は、自社特有の課題やニーズに合わせ、co-creative tools（自社展開、具体化のための4つのツール）を活用することができる（有料）。



1. イノベーション・チャレンジ

世界 90 か国、60 万人の社会イノベーターなどからアイデア・事業提案を募り、社会課題における貴社の機会を探る。

2. NexGen アドバイザリー・パネル

専門性を有する世界の社会イノベーターにより構成されるパネルを通じて、貴社の取組テーマや探究したい具体的なサステナビリティ課題を深掘りすることができる。

3. ソーシャル・イノベーション・ロードマッピング

社会課題を R&D や事業開発の発掘に結びつける短期集中プログラム。具体的な手法を学習しながら貴社の通常開発プロセスにつなげる。

4. オンライン学習プラットフォーム

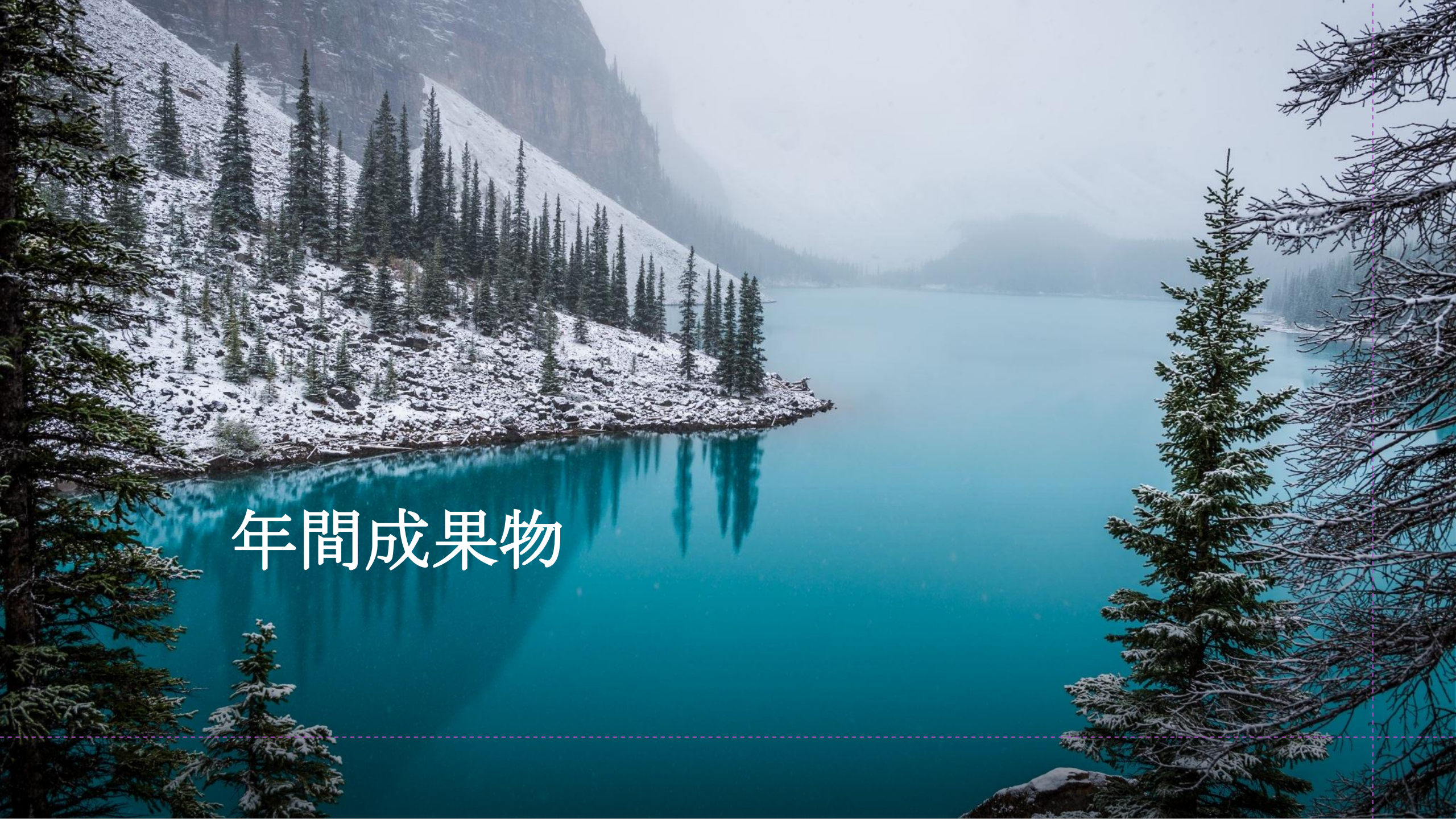
NLU のプラットフォーム上で提供されるマイクロトレーニングおよびウェビナーに加え、カスタマイズモジュールやカスタマイズウェビナーなどの提供も可能。社内のサステナビリティ教育・社内起業家育成に広く活用できる。

5. ソーシャルビジネスイノベーションワークショップシリーズ

社会課題解決における事業機会・アイデア探索などをインハウス型で行う短期プログラム。ノンヒューマンペルソナやソーシャルビジネスモデルキャンパスなど特徴的なフレームワークを用いて実施。

参加枠と参加特典

サービス提供	ピラースポンサー 年間250万円＋税	コミュニティ・パートナー 年間100万円＋税
① 事務局参加者（グリーン）	6人	4人
② アンバサダー（グリーン＋ブルー or レッド）	12人	6人
③ 情報参加（ITプラットフォームのみ@一人1万円／年）	ピラースポンサーのみ （人数制限なし）	
④ グリーナストリーム サステナビリティ・トレンド・ウェビナー	一般社員50人	一般社員25人
⑤ グリーナストリーム 幹部層向けイベント	1: 部長職向け1回 2: 担当役員向け1回	
⑥ ブルーストリーム イントラプレナー育成コース	アンバサダー ＋社内から20人	アンバサダーのみ
⑦ レッドストリーム JCSP 共創プログラム	アンバサダー （希望があれば、8名まで追加可能）	アンバサダーのみ
⑧ 個別サポート	ピーダーセンもしくはPMによる 社内ウェビナー or 経営者対談	

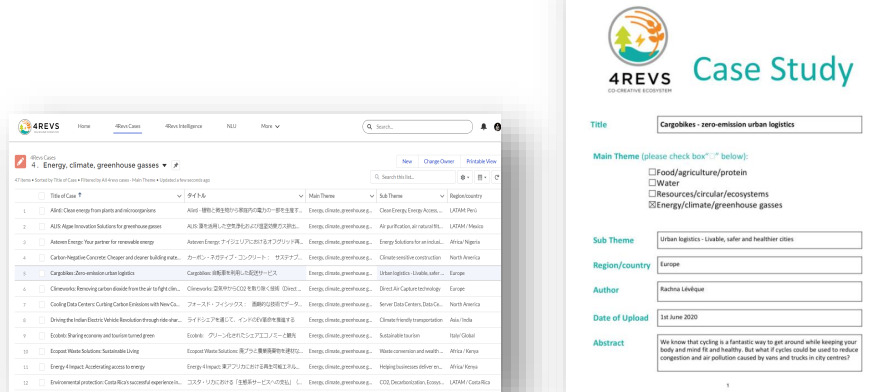
A serene winter scene featuring a vibrant turquoise lake. The lake's surface is calm, reflecting the surrounding environment. To the left, a steep, rocky shoreline is partially covered in a layer of white snow, with several tall, dark evergreen trees standing prominently. In the background, majestic mountains rise, their peaks and slopes also blanketed in snow. The sky is a soft, hazy white, suggesting a misty or overcast day. The overall atmosphere is peaceful and majestic. The text "年間成果物" is overlaid in the lower-left quadrant of the image.

年間成果物

成果物（2022年度の例）

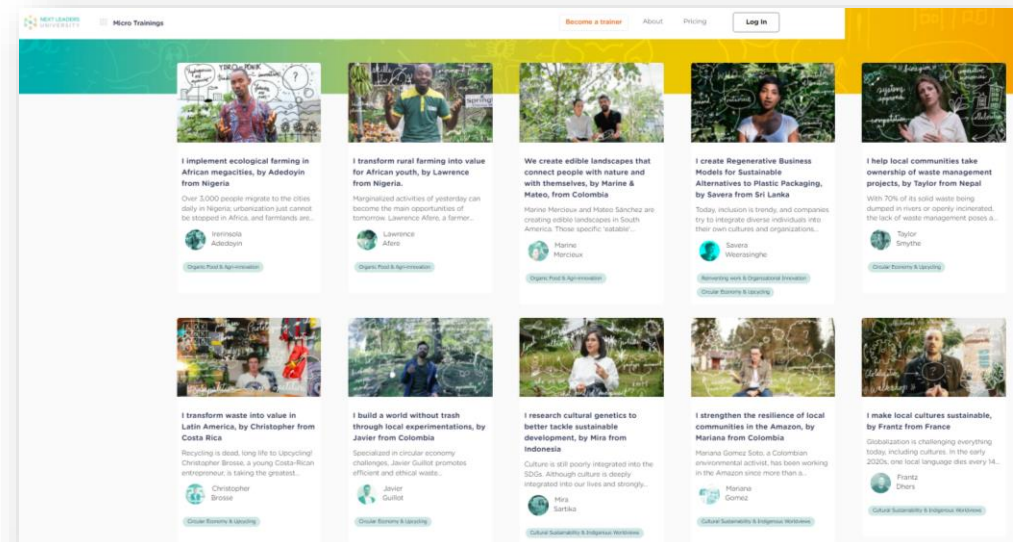
2022年度の主な成果物（本当の成果は交流・共創・学習・事業発掘から得られる）

① 4Revsケース（シーズ）（英／一部日本語） 2023.3: 約490ケース

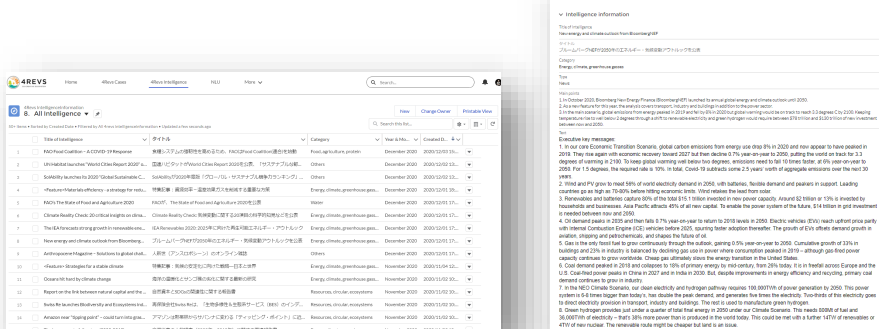


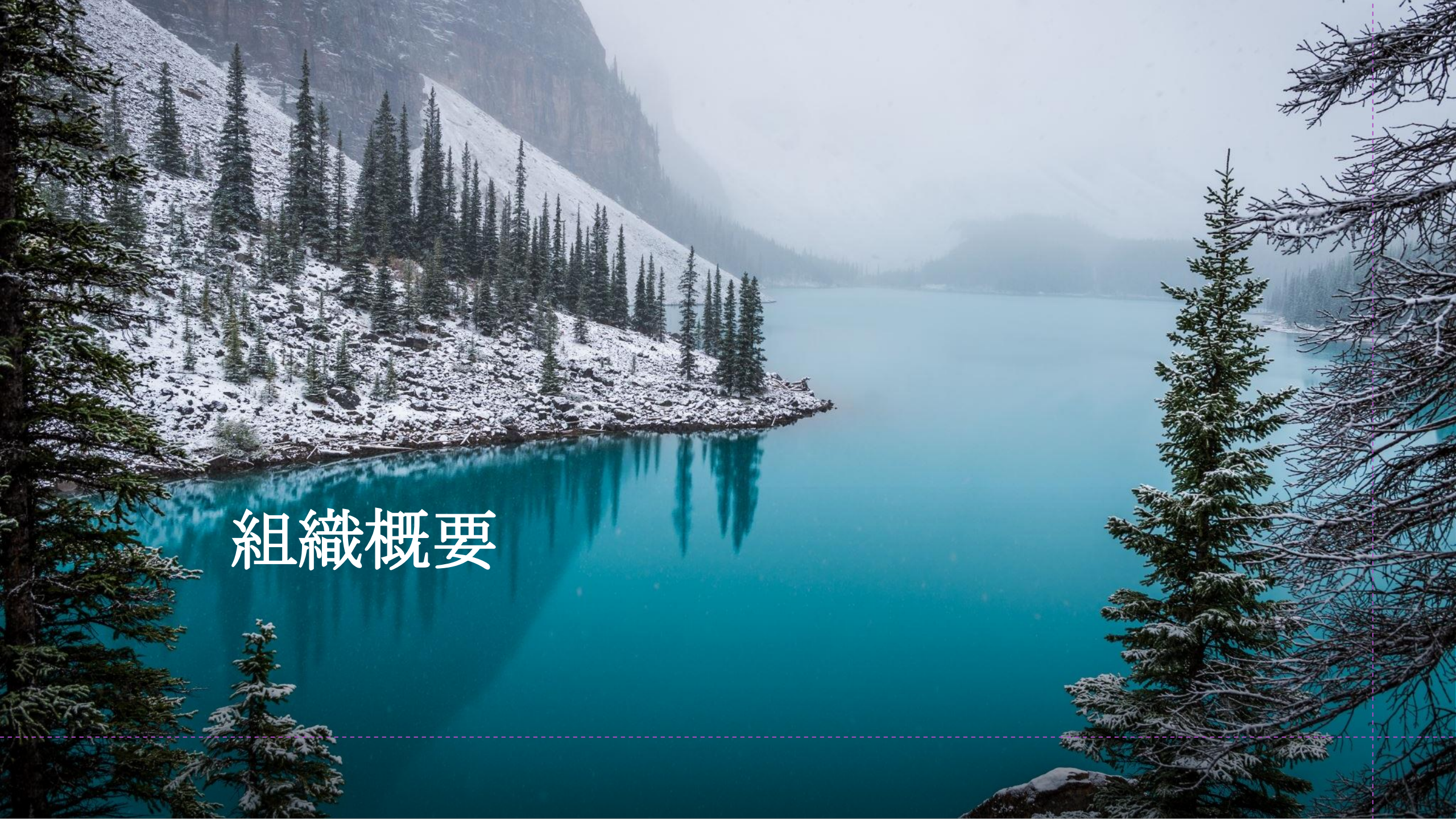
③ 4Revs投資関連情報 2023.3: 約40～50件の4Revs関連ベンチャー紹介 世界各地の新規投資ファンド紹介（件数未定）

④ NLUマイクロトレーニング（21年秋より日本語字幕を提供開始予定） 2023.3: 約50コース（マイクロトレーニング）



② インテリジェンス情報（英／一部日本語） 2023.3: 約350件





組織概要

4Revs Co-creative Ecosystem 主催団体の組織情報



名称 英語名	NPO法人NELIS（ネリス）次世代リーダーのグローバル・ネットワーク NELIS – Next Leaders' Initiative for Sustainability
設立年月日	2015年1月30日（一般社団法人）、2020年8月3日よりNPO法人
代表理事	ピーター D. ピーダーセン（大学院大学至善館教授）
住所	180-0006 東京都武蔵市中町1-22-5-401
ウェブサイト	www.nelisglobal.org
お問合せ	pdp@pdplab.jp （代表理事 ピーター D. ピーダーセン）

NELISのグローバルネットワークについて

NELISは2015年、2017年、2018年、立命館大学および上智大学との協働により、日本で三回の次世代リーダーサミットを開催しているほか、ヘルシンキ大学やラゴス州立大学との協働により欧州サミット（1回）、アフリカサミット（3回）、ラテンアメリカサミット（1回）などを開催している。それぞれの参加メンバーを中心に、現在世界80か国に跨る若手社会イノベーター（主に40歳未満）のコミュニティを形成、日本以外にナイジェリア、シンガポール、ウガンダ、コロンビア、フィンランドで現地法人を設立、支部活動を展開。

NELISのメンバーが関わるサステナビリティのテーマは多岐にわたっている：

持続可能な森林経営、生態系の持続可能な管理、食糧、有機農業、パーマカルチャー、サーキュラー経済、プラスチック問題、都市計画、輸送、気候変動、エネルギー（創エネ、省エネ）、水、サステナブル・ファイナンスといった「ハード」なテーマに加え、次世代型リーダーシップ、アートを通じたコミュニケーション体験、子供のための環境教育、新しい学習・教育パラダイム、共感を通じた社会変革活動、非暴力コミュニケーション、社会起業家育成などといった「ソフト」な分野における知見を有するメンバーも多い。

参加申込書を4Revs主宰者まで直接お送りください（メールにて）： ピーター D. ピーダーセン pdp@pdplab.jp

対象期間： 2022年4月～2023年3月（1年間）

企業・団体名		部署名（請求書送付先）	
ご参加コース			
☐ ピラー・スポンサー（250万円＋税）		☐ コミュニティ・パートナー（100万円＋税）	
☐ 情報参加を検討したい（ピラー・スポンサーのみ）		※別途、登録フォームをお送りします。	
連絡窓口（ご担当者名）		電子メール（ご担当者）	
ご住所 〒		電話番号	
		備考	
請求月（ご希望）			
☐ 3月／4 月		☐ 4月／5月	